

# 女性のつながりサポート事業【滋賀県】

総事業費	9,700 千円
交付金額	3,310 千円

## 地域の実情と課題

コロナ禍の影響が長期化する中で、雇用や生活への影響も大きなものとなっている。特に、非正規雇用労働者の割合が過半数を占める女性の雇用を直撃し、雇止めやシフトの減少など、「女性不況」とも言われる厳しい状況になっており、本県においても、雇用者に占める非正規の職員・従業員の割合は女性で約6割となっている。その中でも、雇用者に占めるパート・アルバイトの割合は増加傾向にあり、女性は全国よりも高い傾向にある(全国:42.6%、滋賀県:47.4%)。

また、外出自粛などによる家庭で過ごす時間の増加に伴い、日ごろの女性への家事や育児等の負担の偏りがさらに大きくなることが懸念されている。

さらには、生活不安やストレス等から配偶者からの暴力の増加や深刻化のほか、自殺者の増加も問題となっている。県の配偶者暴力支援センターのDV相談件数については、令和元年度相談件数が929件なのに対し、令和2年度は1,085件と156件増加している。

## 事業の特徴

- 提供する居場所が心理的に安心できる場所となり、そこでの会話や同じ境遇の人と交流することで、孤独・孤立からの不安を解消することができる。
- 居場所の提供や個々の状況に応じた支援窓口につなぐことで希望を持ってもらい、生活や就労への意欲を取り戻し、社会とのつながりを回復することができる。
- 本事業を通じて、社会福祉協議会や県立男女共同参画センターなどの関係支援機関のつながりや支援体制の強化につながる。

## 事業の効果

- 居場所の提供の事後アンケートでは、参加者には概ね満足いただいております。子育て中の母親からは、子どもと離れて自分の時間を持てる機会をもらえて嬉しいという意見もあった。
- 協力団体からの報告では、何度も参加いただくことで、悩みを打ち明けてくれるようになったなど、継続して実施したことによる効果がうかがえた。
- 居場所の提供:511回行い、その参加者数は延べ4,194人となるなど、多くの方に参加いただくことができた。
- 生理用品配布場所:136か所(県立施設、学校、こども食堂等協力団体)

## 目的・目標

- 事業目標:
  - ・居場所の設置数 目標:30か所→結果:21か所
  - ・相談会参加者数 目標:20人 →結果:11人
- 孤独・孤立で不安を抱える女性が、必要とする支援につながるよう気軽に相談できる場や、訪問できる場を提供する。相談できる場では、専門の相談員による相談、訪問できる場では、施設運営者との何気ない会話、その場に来た同じような境遇を持つ者同士での交流等を通じて、社会とのつながりの回復を支援するとともに、適切な支援窓口につながるよう案内する。
- 必要な情報が届くよう関係機関と連携し情報提供を行う。
- 必要に応じて生理用品の提供を行い、支援につながる機会を提供する。

## 連携団体

社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会、県内の子ども食堂、市町、県立学校、滋賀県立男女共同参画センター、滋賀マザーズジョブステーション、滋賀県母子家庭等就業・自立支援センター、県健康福祉事務所、県子ども家庭相談センター、滋賀県精神保健福祉センター等

## 今後の課題

- コロナの感染拡大は一定収まってきたものの、孤独・孤立で不安や悩みを抱える女性の状況が改善されているとは言い難い。
- 今後も民間団体と協力しながら、不安や悩みを抱える女性が社会とのつながりを回復できるよう、継続的な居場所の提供や、支援窓口等の情報提供を行っていく必要がある。

# 事業の概要



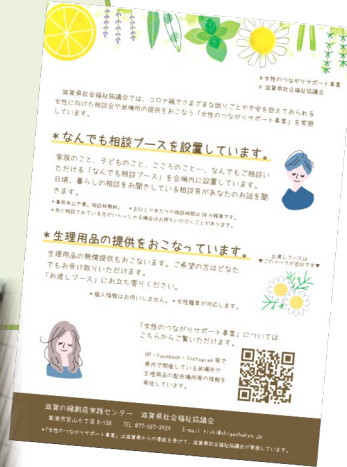
# 困難や不安を抱える女性への支援 女性のつながりサポート事業



## 相談支援

JR駅周辺施設や委託先が行う事業の場等を活用し、関係機関等による相談窓口を設置した相談会を5回開催

- 相談会
- 9月8日(木)、9月15日(木)、11月2日(火)、11月15日(水)、3月18日(土)



## 居場所の提供

NPOなど民間団体等との協働で居場所を提供し、相談支援を行った。  
県内に21か所設置。延べ511回居場所の提供を実施した。  
居場所の提供協力団体を対象に情報・意見交換会を開催した。



## アウトリーチ型支援(生理用品の配布)

経済的な理由などから生理用品の入手が困難になっている方に対して、相談支援を含め、各市町、各社会福祉協議会、県立学校等との連携のもと、就労相談、生活困窮相談等の機会を活用し、必要とする女性に生理用品を提供した。

- 県立施設: 16か所 (県立男女共同参画センター、県立図書館など)
- 学校: 74校
- 協力団体: 46か所 (県内子ども食堂、市町社会福祉協議会など)



## 情報提供

- 相談・支援窓口等を記載したチラシやカードを配布した。
  - ◆学生向けチラシ、カード
  - ◆一般向けチラシ、カード
- SNS等を活用し、相談会や居場所の周知を行った。
  - ◆Instagram ◆Twitter ◆Facebook ◆LINE
- 冊子、通信の発行

